

令和5年度 鳥取大学入学者選抜試験問題

(後期日程)

小論文

(地域学部 地域学科 地域創造コース)

(注意)

1. 問題冊子は、指示があるまで開かないこと。
2. 問題は3ページ、解答用紙は2枚、下書用紙は2枚である。
指示があってから確認すること。
3. 解答は解答用紙（横書き）に記入すること。
4. 下書、メモ等を試みる場合は、下書用紙又は問題冊子の余白を利用してよい。
5. 解答用紙を持ち帰ってはならないが、問題冊子及び下書用紙は必ず持ち帰ること。

この部分については、著作権の都合上、HPで公開しておりません。

この部分については、著作権の都合上、HPで公開しておりません。

(出典) 玉野井芳郎『地域分権の思想』東洋経済新報社、1977年、2-7ページ。

(出題にあたり、文章の趣旨が変わらない形で原文中の小見出し、本文の一部、注釈、引用表記を省略し、原則として漢数字はアラビア数字に変更した。)

(注) 玉野井によれば、「地域主義」とは「一定地域の住民が、その地域の風土的個性を背景に、その地域の共同体に対して一体感をもち、地域の行政的・経済的自立性と文化的独立性とを追求すること」をいう。(同書、7ページ)

問1 「画一性」と「個性」という言葉を用いて、課題文で述べられている筆者の主張を300字以内でまとめなさい。

問2 課題文が出版されたのは、第二次大戦後の高度経済成長期が終わり、次の社会や経済のあり方をどのように構想していくのかが問われた時期である。それから45年を経た現在、「地域主義」という観点から筆者が指摘した当時の日本の状況に変化が見られるのかどうか、具体例を挙げながら、700字以内であなたの考えを述べなさい。